

平成18年度 広域連携等産地競争力強化支援事業の評価結果

県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	市町村名	事業実施年度	成果目標の具体的な内容	成果目標関係			事業評価の検証方法	費用対効果分析関係		事業計画の妥当性	適正な事業執行	地方農政局長等の意見
							現状値(H18年度)	目標値(H20年度)	結果		計画値(H18)	結果(H20)			
徳島県	阿波市市場町	有限会社 吉野農園	輸入急増野菜・トマト	阿波市	平成18年度	76%	-	76%	59%	平成20年度における高糖度トマトの出荷割合実績値を計画時に設定した同目標値で割り達成度を求めることにより評価する。	1.39	1.03	1	2	<p>本施設は、水耕栽培においてECストレスを加えることにより高糖度（8度以上）トマトの出荷割合を向上させることを目的にしたものであり、具体的には出荷量に対する高糖度トマトの占める割合を76%（H20年度）にすることを成果目標としたものである。</p> <p>事業実施主体では、計画当初から、高温障害が目標達成のネックになることを想定し、高軒高構造のハウスを選択し、また、養液冷却装置を導入している。</p> <p>しかし、予想以上に高温期の影響は強く、また、果菜類は栽培期間が長く管理作業に熟練を要するものであったため、生理障害の発生や果実肥大の短期化（内容分の充実不足）等により目標達成に至っていない。</p> <p>現在の施設の稼働状況を確認したところ、当該事業実施主体では、過去の反省を踏まえ「養液温度の適正化」、「品種選定（品種比較試験）」、「細霧冷房装置の試験導入」、「カルシウム剤の葉面散布（生理障害対策）」など新たな技術導入を自ら進めており、また、作業員の技術の平準化のため、作業マニュアルを作成し、成果目標の達成に向けた取り組みを進めている。</p> <p>当農政局としては、必要に応じて現地調査を行い、事業実施主体での改善に向けた取組の状況を把握していくとともに、年度ごとの改善目標を明確化させ着実な改善を進める必要があることから改善計画の内容について指導する</p>
						<p>目標年度(平成20年度)における計画出荷量中の高糖度トマトの目標割合(%)</p> <p>生産実績無し(H18年度)</p> <p>生産量(t) 68</p> <p>高糖度(t) 52</p> <p>高糖度の割合(%) (÷) A</p> <p>76%</p> <p>生産量(t) 59.16</p> <p>高糖度(t) 35</p> <p>高糖度の割合(%) (÷) B</p> <p>59%</p> <p>達成度 B / A</p> <p>77%</p>									